

令和7年度 事業報告

令和7年度における本会は、少子高齢化やつながりの希薄化など、地域住民の多様な福祉課題や潜在的な福祉ニーズの解決に向けて福祉関係団体及び行政機関等の協力を得ながら、事業計画に基づき各種事業に取り組みました。

具体的には生活支援体制整備事業の推進や、ひとりで悩みを抱えないための仕組みである「心配ごと相談所」や「終活相談会」を開催しました。さらに、本会独自のフードバンク事業へ向けた研究として、市内企業との協力体制の構築について話し合いを開始しました。加えて、歳末たすけあい募金を活用し、市内の要保護、準要保護世帯の児童・生徒へ図書カードを送る事業を開始しました。

また、大規模災害への備えとして実施した「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」では、災害ボランティアセンター用のオンラインシステムであるkintoneについて、千葉県社会福祉協議会より講師を招き、操作の仕方を学びました。

さらに、生活困窮者への支援としては、千葉県社会福祉協議会からの受託事業で、新型コロナウイルス感染症を原因とする減収や失業等への支援である、生活福祉資金（通称「コロナ特例貸付」）の償還に関する相談や指導も対応しました。

なお、令和7年度に実施した事業の詳細につきましては、次のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 6月5日（木）

- ・令和6年度補正予算について
- ・令和6年度事業報告について
- ・令和6年度決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・令和7年度定時評議員会開催について

第2回 6月23日（月）

- ・会長、副会長の選定について
- ・令和7年度第2回評議員会開催について

第3回 12月19日（金）

- ・職員給与規程の一部改正について

第4回 3月12日（木）

- ・令和7年度補正予算について
- ・役員等賠償責任保険の加入について
- ・令和8年度事業計画案について
- ・令和8年度予算案について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・令和7年度第3回評議員会開催について

第5回 3月26日（木）

- ・会長、副会長の選定について

◎評議員会

定時（第1回） 6月20日（金）

- ・令和6年度補正予算について
- ・令和6年度事業報告について
- ・令和6年度決算について
- ・理事及び監事の選任について

第2回 7月10日（木） ※書面決議

- ・理事の選任について

第3回 3月25日（水）

- ・令和7年度補正予算について
- ・令和8年度事業計画案について
- ・令和8年度予算案について
- ・理事及び監事の選任について

◎内部監査 5月22日(木)

- ・令和6年度事業報告
- ・令和6年度会計決算

◎外部監査(鎌ケ谷市)

①令和7年度社会福祉法人指導監査 令和7年10月23日(木)

- ・社会福祉法人指導監査
- ・会計管理に関する指導監査

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費 6,753,060円(40自治会・町会、個人1名)

②法人会費 686,000円(80件)

③施設・団体会費 266,500円(41件)

合 計 7,705,560円

○自治会・町会へ福祉事業費として、1,663,000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業

- ・ホームページや「X」(旧Twitter)による啓発として、市社協及びボランティアセンターや、地区社協の事業実施状況等、タイムリーな情報発信に努めた。
- ・広報紙「鎌ケ谷社協だより」を年3回発行し、内1回は紙面数を増やす等、社協事業の啓発に努めた。また、発行内容に応じ、自治会・町会による全戸配布や新聞折り込み、市内8か所の駅への設置を行う等、効果的な情報提供に努めた。さらに、新規の設置場所として市内郵便局や喫茶店、クリニック、フットサル場等への配架も実施することができた。

(4) 市民・学校・福祉団体等への支援

- ・市内で住宅火災や床上浸水が発生し、10件の見舞金計95,000円を交付した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会が主催する研修会等への参加を図る等、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。

- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に助成し、その活動を支援した。(計484,000円)
- ・市内全小学校及び中学校(計14校)に福祉活動助成金として助成し、福祉教育(校内環境美化、福祉募金活動等)の支援に努めた。(一校当たり50,000円)
- ・障害者週間に合わせて、アクロスモール新鎌ヶ谷、きらり鎌ヶ谷市民会館、市役所市民ホールに、市内18か所の障がい福祉サービス事業所のパネルを展示した。市民ホールでは手作り品の販売を行い、各事業所の活動の啓発に寄与した。
- ・市内中学校の制服リユース事業を実施した。(提供者72名237点、利用者129名211点)

2 地域福祉事業

(1) 地区社会福祉協議会事業の活性化

地域福祉活動の中核的組織として、地域により近い6地区社協が窓口となり、「福祉サービス案内」の充実が図れるよう地区担当職員を配置するとともに、地域福祉事業に必要な知識の習得を図った。

◎各地区の情報共有のための連絡会議及び事務局会議等の開催

- ①地区社協連絡会議(年3回実施。うち1回は研修会として開催)
- ②地区社協連絡会研修会(1月14日実施)「広報紙に関する研修会」
- ③地区社協事務局会議(年8回実施)

◎その他資質向上のための研修会実施

- ①災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(1月24日実施)
 - 講義 「災害VC運営システム的使用方法について」
 - 演習 「災害VC運営システムを使用した災害VC運営」
 - 講師 新井 麻紀子 氏(千葉県社会福祉協議会)

◎市社協との共催事業 成年後見制度・遺言個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言や相続等について司法書士の協力を得て、市社協との共催にて相談会を開催した。(市内6か所・計16件)

<参考>

○中央地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	・「まごころ」（６７号５，０００部）を年２回発行 （６８号５，０００部）
ふ れ あ い 交 流	茶話会	・ ７０歳以上の方を対象とした交流会 ラジオ体操、健幸サポーターによる体操と脳トレ、玉入れゲーム、篠笛の演奏鑑賞と合唱、輪投げゲーム、ジャズ演奏の鑑賞、バグゴゲーム、ダーツゲーム、三味線演奏鑑賞と合唱、ビンゴゲーム、コーラスサークルハッピーフォーの鑑賞と合唱などをして交流会を行った。 （年６回延べ２００名参加）
在 宅 福 祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会	・ 地域の方を対象に行う健康長寿体操教室 インストラクター指導のもと、ストレッチ体操等を行った。 （年３回延べ１１６名参加） ・ ひとり暮らしの高齢者を対象に、４つの地域で各援護グループに依頼し交流会を行った。 （各グループ年２回実施、年８回延べ１７３名参加）
ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	ボランティア研修会 中央地区 ふれあいのつどい	・ はもれびクリニック細田院長の在宅医療についてのお話し会を行った。 （１５名参加） ・ 地区ふれあい員の研修会（自連協との共催） 西部地域包括支援センター矢戸所長による 「お家で暮らすための福祉用具の活用」の講座を行った。 （４５名参加）

	中央児童センター わんぱくこども村 まつり	・折り紙コーナーに参加協力した。 (8名参加)
実行 委員 会	ふれあいサロン	・地域の高齢者や小さな子ども連れの親子など、 「誰でも気軽につどえる場所」を目指しサロンを 第4木曜日に開催した。 小物づくりや折り紙、脳トレプリント・ぬり絵 川柳づくりを行った。 (年9回延べ179名参加)
そ の 他	中央公民館 ふれあいまつり	・4委員会で参加協力し、喫茶室を開催した。 (2日間延べ2,171名参加)

◎見守りパトロール（通年、4委員会で月毎に実施した。）

○中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 ホームページ	・「おもいやり」（4,500部）を年2回発行 ・ホームページに掲載し、地区社協事業等の啓発に 努めた。
ふ れ あ い 交 流	地区ふれあい祭り 防災備品点検・発電機 点検	・地域の方とふれあいの場（クリスマス会） (200名参加) ・運営委員を対象に防災備品点検 委員会等で発電機動作確認を1回実施。 (延べ22名参加)
在 宅 福 祉	介護予防教室	・地域の方を対象に、ウォーキング講習会・健康体 操を実施 (年7回延べ299名参加)

ボランティア育成	青少年福祉活動①	・ ひょうたんまつりにて工作教室開催 (300名参加)
	青少年福祉活動②	・ 初小・五本松小6年生が、ひとり暮らし高齢者への年賀状を出す事業を実施。 (合わせて208枚完成)
	青少年福祉活動③ 五本松小ふれあい会	・ 2年生と高齢者との交流会 (昔あそび) (15名参加)
	初小ふれあい会	・ 1年生と高齢者との交流会 (昔あそび) (14名参加)
	中央児童館ふれあい動物園	・ 1年生と高齢者との交流会 (昔あそび) (15名参加)
部会活動	中央児童館ふれあい動物園	・ 折り紙工作教室を開催・駐輪場整備等手伝い (9名参加)
	サロン事業 (翔友会)	・ 地域の方が参加できる交流の場 (年11回延べ295名) ※8月は熱中症対策のため開催せず。
その他	運営委員研修会 脳トレプリント	・ 運営委員、地区ふれあい員、民生委員児童委員、援護グループ、各自治会長を対象に研修会を実施した。(42名参加) ・ 脳トレプリントを各事業にて配布及び東武自治会館で配布

○東部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙	・ 「ふれあい」 (8,000部) を年2回発行
地域交流	東部ふれあいまつり	・ 東部学習センター利用団体サークル発表会、展示 (来場者1,348名)

	ふれあい福祉まつり	・ 東部地区老人会、談話室の発表、展示 (来場者 243 名)
	交流バス研修	・ 閉じこもりがちな高齢者を対象 (35 名参加) 牛久大仏、牛久シャトー
健康福祉	介護予防 みんなで健康 「ほのぼの会」	・ 地域の高齢者を対象 (8 回実施 延べ 286 名参加)
	ふれあいサロン 「すみれ」	・ 誰でも気軽に立ち寄れる交流の場 (12 回実施 延べ 494 名参加)
育成研修	地区ふれあい員研修	・ 委嘱式 (86 名参加) 出席者：地区ふれあい員、自治会長、 自連協福祉委員、育成研修委員
	福祉講座	・ 「ボッチャ体験会」 (各 24 名参加) 地区ふれあい員を対象とした体験会 協力：鎌ヶ谷市レクリエーション協会
	青少年育成	・ 道野辺小、東部小児童を対象 「手話講座～聞こえないって、どんなこと？～」 (25 名参加) ミニ講演、自己紹介・挨拶の手話、手話歌など 協力：手話サークル「みどりの会」 聴覚障害者福祉会

○西部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	・「あけぼの」号外（２，８００部）を発行 ・「あけぼの６５号」（２，７００部）を発行 ・「あけぼの６６号」（２，６００部）を発行
地 域 交 流	サロン「梨の花」 コミセン・児童センターまつり おせんべい焼き 子育て支援事業 昔あそびの会 脳トレプリント	・自治会館を利用してサロンを開催した。 くぬぎ山自治会館（年６回延べ１５５名参加） 北初富第５自治会館（年３回延べ３４名参加） ・まつりの手伝い（ゲームコーナー） パネルの展示（５名参加） ・くぬぎ山児童センター事業手伝い（５名参加） ・くぬぎ山児童センターと共催 子育て中のママ向け「ストラップ・香り袋作り」 を開催した。（２８名参加） ・くぬぎ山児童センターと共催 こま・羽子板・けん玉などを児童と一緒に 行った。（２４名参加） ・くぬぎ山コミュニティセンター玄関脇と北初富 （山崎理容室）に脳トレプリント（５種類）を設 置した。２週間に一度プリントを入れ替え。（年間 総数７，０１９枚）

在宅福祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会)	・申し込み制とし、脳トレ、ゲームなどを実施した。(年8回延べ197名参加)
	高齢者支援教室	・栄養士・歯科衛生士による栄養指導と口腔ケア指導を実施した。 ・吉本興業もぐもぐピーナッツによる「笑って笑って元気アップ講座」(年2回延べ70名参加)
	在宅介護者のつどい	・介護をしている方の悩みごとの話し合い。 ・自然素材でリース作り。(年2回延べ30名参加)
ボランティア育成	体操講習会	・中島一郎先生による体操講習会を実施した。 (鎌ヶ谷市総合福祉保健センター・くぬぎ山コミュニティセンターを利用) (年2回延べ109名参加)
	わかば (健康作りの会)	・会員を対象として、浅沼美那子先生による体操教室を開催した。(年8回延べ193名参加)
	講演会	・朝日山親方による「相撲講座」(50名参加)
その他	ラジオ体操	・くぬぎ山公園を利用し、毎月第2・第4金曜にラジオ体操を実施した。(全24回延べ508名参加)
	講演会	・西部小学校6年生を対象に「命の授業」(講師今西乃子氏)を開催した。(84名参加)
	地域交流会	・避難所運営について研修を行った。(36名参加)

○南部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙	・なんぶだより 60号 6,000部発行 自治会に依頼し、各戸配布を行った。 ・役員紹介のための特別号を発行
在宅福祉	体操教室	・チェアヨガやストレッチ・ズンバなどを行い健康増進と介護予防を目的とした事業。 (年7回開催 265名参加)
	ウォーキング&軽スポーツ	・春)ウォーキング「南部地域の史跡巡り」 秋)ウォーク&軽スポーツ(クラブ)を行った。 (年2回開催 43名参加)
	高齢者バスハイキング	・一人暮らしの高齢者を対象に成田市さくらの山を散策。(35名参加)
	子育て支援	・南部公民館、南児童センター、地区社協との三者共催事業。未就学児の子供と親を対象にストレッチヨガや親子ダンス等で行う子育て支援。 (年3回 延べ39組参加)
事業	(災害時支援部会) 防災倉庫点検	・防災備品の整備と使用確認。 (年1回実施 18名参加)
	(地域交流部会) 南部ふれあいの集い	・鎌ヶ谷警察署に講演を依頼し、免許返納を考える機会となった。(58名)
	南児童センター交流	・ありんこ春まつりに協力(4名参加) ・お煎餅焼きに協力(3名参加)
	道野辺保育園交流	・年長組の園児へ委員手作りの「松ぼっくりのツリー」を贈った。園児35名分を制作

	南部いきいきサロン	・手芸や脳トレを楽しみながら交流を図った。 (年間 11回 321名参加)
	公民館まつりに参加	・喫茶コーナーとパンの販売を行った。(委員 18名参加)
	グラウンド・ゴルフ大会	・第四中学校校庭を会場に、地域住民と中学生がグラウンドゴルフで交流を図った。(62名参加)
	(なんぶ孫の手会部会) 孫の手バス研修	・ボランティアと運営委員の交流の機会として、バス研修を開催。(36名参加)
	ボランティア活動	・ゴミ出し 活動場所：グリーンハイツ (年間 69件)
その他	周知活動	・ホームページやXを活用して情報発信を行った。

○北部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報	地区社協広報紙	・行事報告と情報提供 ・No. 653, 000部 No. 663, 000部発行
ふれあい交流	サロン事業 (サロンほ・く・ぶ) おせんべい焼き	・北部地域住民を対象に閉じこもり防止、異世代交流等で気軽に立ち寄れる憩いの場を提供。 工作や折り紙、脳トレなど8回開催。 (延べ130名参加) ・栗野コミュニティセンターにて、地域の子ども達、父母、ふれあい交流委員との交流等。 (延べ154名参加)
在	元気アップ教室	・元気アップ教室を3回開催

宅 福 祉	友愛訪問	軽体操・音楽鑑賞会（ハーモニカ演奏・八丈太鼓の演奏）や、健康チェックなど （延べ145名参加） ・ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯に、委員が手紙を作成し、お便りを配付。 （485件）
	年賀状事業	・ひとり暮らしの高齢者の方に、北部小5、6年生、三中美術部生徒から年賀状を送った。 （120枚）
健 康 推 進	健康体操	・地域の方を対象に、健康づくりを目的とした健康運動指導士による軽体操を8回開催した。 （延べ269名参加）
	ヨガ教室	・地域の方を対象に、リフレッシュを目的としたヨガを3回開催した。（延べ29名参加）
	バスボム作り	・子育て世代の母親を対象に、リフレッシュ、地域交流を目的とした保育付き講座を開催した。 （延べ34名参加）
そ の 他	役員会 総会 活動助成金交付	・役員、運営委員30名 ・栗野米寿会 軽井沢長寿会

（２）生活支援体制整備事業

○第１層協議体活動

令和７年度鎌ケ谷市地域包括ケア推進協議会に出席（１０月３１日開催）

○通所型サービスＣでの社会資源情報の提供及び自立支援型地域ケア会議
へ第２層コーディネーターと共に出席

○第２層協議体活動

地域包括ケアシステムの一部である生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター設置業務委託事業＜実施主体：鎌ケ谷市＞）への取組として、６コミュニティエリアに配置した生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの協議体で地域の実情に合わせた話し合いと実践を重ねた。

協議体名称	会議数	取組数	実施内容
中央地区第2層協議体	2回	3回	7月30日、11月26日、1月29日に「リアル野球盤ゲーム」や「ボッチャ」を実施。ゲームの前はラジオ体操で体をほぐし、体操後は保健師の健康に関するワンポイント講座を実施。ゲームの後は、同じチームになった方で、ゲームの感想のほか、介護保険や健康のこと、地域での困りごとやご自身の悩み事など、普段気になることを話し合いながら交流を深めた。延べ参加者数93名
中央東地区第2層協議体	10回	4回	5月29日、11月15日に東武鎌ヶ谷自治会館にて健康チェックデーを開催。参加者はそれぞれ40名、36名。骨密度測定や保健師、地域包括支援センターによる健康相談会及び講演会を開催した。 10月29日、1月28日に三井鎌ヶ谷自治会館にて健幸サポーターを講師に体操教室を開催。参加者はそれぞれ15名、9名。
東部おたがいさまの会	2回	4回	4月17日、7月29日、10月23日、1月28日に小規模談話室「クローバー」を、地域の自治会館や学習センター、コミュニティセンターで開催。ボッチャやおしゃべりタイムをとおして参加者同士の交流を図った。今後も課題等を抽出しつつ、地区内に複数のクローバーの設置を目指す。延べ参加者36名
西部地区第2層協議体	4回		〈くぬぎ山地区〉地域の見守りや安否確認をする「声かけ隊」活動を各自治会の協力のもと定期的の実施した（計126回）。外出機会の一助とするため、「声かけベンチ」を計5台設置しており、「声かけベンチマップ」を掲示し、利用促進を図った（北初富地区含め計6台）。 また、両活動のチラシの配布等を行い、啓発と周知に努めた。

		1 2 回	〈北初富地区〉「身近な場所で体を動かす場が必要」との地域課題に対応するため、木刈橋公民館で6回、北初富第5自治会館で6回の体操教室を実施した。
南部ささえあい協議体	3 回	3 回	南部公民館に来ることのできない方も気軽に参加できるよう、5月28日、11月13日、2月24日にそれぞれグリーンハイツ集会所、北中沢コミュニティセンター、道野辺あおば自治会館にて出張ミニ講座を開催。また、イベント終了後には孤立防止の観点から交流会を開催した。延べ参加者数87名。
たすけあい活動あさか（北部）	2 回	1 6 回	4月、5月、6月、9月、10月、11月、12月、1月の第3金曜日に、北部公民館まで来ることが難しい方々のために、佐津間・栗野それぞれの地域で小規模活動を実施することとし、佐津間地区で計8回の健康体操を実施した。栗野地区では、軽体操やゲームなどを行う談話室「ふらっと寄ってみよう会」を計8回開催した。延べ参加者数113名

○生活支援コーディネーター養成研修へ参加。（8月12日、8月28日）

○全体研修として、1月14日に市役所本庁舎6階第1委員会室にて広報紙に関する研修会「効果的な広報紙の作り方講座」を開催した。

講師：真下 聡 氏（9Doors 元朝日新聞編集者）

参加者 計40名

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等を実施して、ボランティア活動の推進に努めた。また、ボランティア団体への支援や他機関の講座や研修に協力した。災害ボランティアセンター立ち上げ訓練については、県内社協で導入されている災害ボランティアセンター運営支援システム「kintone」を活用した立ち上げ訓練を職員限定で実施した。（1月24日開催、21名参加）

①相談・活動状況

ボランティア活動希望等に関する相談件数	88件
ボランティア依頼等に関するニーズ件数	214件
マッチング件数	549件
ボランティア活動の継続・支援に関する相談等件数	2,269件

②登録状況

ボランティア団体（25団体）	663名	全社協ボランティア保険加入者 基本プラン 547名 天災・地震補償プラン 9名
個人ボランティア	223名	
合 計	886名	

③事業の内容等

事業名	開催日等	参加者
ボランティア入門講座	6月25日 講師：山崎文代氏	31名
市民ボランティア体験	7月3日～7月24日 前期7メニュー	22名
	2月4日～3月5日 後期6メニュー	37名
夏休みボランティア福祉体験	7月29日～8月22日9メニュー	116名
災害ボランティア養成講座	1月22日 講師：第一部 安全対策課 第二部 鎌ヶ谷消防署	31名
スキルアップ講座	3月19日 講師：ヒトヨシノビタ氏	130名

④福祉講座等協力

事業名（依頼先等）	開催日	受講人数
鎌ヶ谷市赤十字奉仕団 （手話サークル「みどりの会」）	4月24日	49名
鎌ヶ谷市赤十字奉仕団 「一日赤十字」車いす体験 （ボランティア連絡協議会・個人ボ ランティア）	7月9日	45名

北部シルバーカレッジ 手話出前講座 (手話サークル「みどりの会」)	6月17日	35名
南部小学校(特別支援学級) 手話出前講座 (手話サークル「みどりの会」)	7月9日	9名
東部地区 育成研修委員会 手話サークル「みどりの会」	12月20日	25名

⑤講師派遣等

事業名(依頼先等)	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座 (こども支援課)	5月21日	12名
かまがや健幸サポーター講座 (高齢者支援課)	7月3日	9名
	12月3日	9名
認知症サポーターレベルアップ講座 (高齢者支援課)	9月1日	19名

⑥他機関との情報交換

事業名(参加者等)	開催日	参加者
東葛地区ボランティアコーディネーター交流会(近隣9市)	11月26日	31名

⑦福祉用具等の貸出

備品名	貸出件数	貸出先
車いす	49	個人・小学校・行政・地域等
高齢者疑似体験セット	9	小学校・企業・福祉施設・行政等
ボッチャゲームセット	26	福祉施設等・地域・小学校・医療機関・行政等

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や障がいのある方、子育て世帯(産前産後)の方で、事情があり家事にお困りの方が「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力

会員」が家事支援・介助等のサービスを有料で提供する、会員制の相互扶助（たすけあい活動）の福祉サービスを実施した。必要に応じ感染症対策や熱中症対策に配慮しながら、会員相互の安心・安全対策を講じ、可能な範囲で会員の自立に向けた支援を推進した。

○活動状況

利用会員	登録者人数	54名
	・利用人数	22名
	・安心登録人数	16名
	・休止・中止人数	16名
協力会員	登録者人数	26名
	活動人数	11名
延べ活動利用回数		515回
延べ活動利用時間数		623時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録更新・新規会員登録説明会 ・「高齢者があいやすい消費トラブルについて」 ・新規登録と更新説明会（事業概要）	4月11日
調理に関する研修会 ・講義「食中毒などの食品衛生上の注意・手洗いチェック」 ・調理実習「産後世帯に向けたメニュー」 ・グループワーク「栄養バランスチェック」	7月9日
救命救急講習（AED）	9月9日
調理に関する研修会 ・講義「しっかり食べて老化を防ぐ」「手洗いチェック」 ・調理実習「高齢者に向けたレシピ」 ・グループワーク「栄養バランスチェック」	10月28日
外出支援に関する研修会 ・講義「外出支援について」 ・実技「車椅子等の実技研修」	11月10日

子育て世帯に関する研修会 ・講義「子育て世帯との関わり方について」 ・実習「新生児の沐浴実習」	2月12日
---	-------

延べ69名参加

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症などの家族を介護している方を対象として、日頃の介護疲れを癒すことを目的に、介護者同士の情報交換の場を提供した。また、市高齢者支援課の協力による健康チェックを行った。昨年に引き続き感染対策に配慮しながら開催した。開催中止の際は、「地区社協事業・心の相談事業案内」や「熱中症対策」等の情報提供を行った。

○事業の内容等

内 容	開催日
軽体操「健幸体操」 「介護体験意見交換」	4月21日
手工芸「造花で造るフラワーアレンジメント」 「介護体験意見交換」	5月20日
バス交流会「浦安市郷土博物館」	6月11日
レクリエーション「ボッチャ体験」「介護体験意見交換」	7月17日
熱中症対策のため中止。情報提供した。(送付) 「地区社協事業」「心の相談事業案内」「熱中症対策」	8月
手工芸「フラワーアレンジメント」「介護体験意見交換」	9月26日
調理実習・講話「時短調理で心にゆとりある食事作り」 「介護体験意見交換」	10月23日
介護講話「レスパイトケア～介護者の休息について～」 「介護体験意見交換」	11月26日
手工芸「トールペイントの技法でお正月ランチョンマットを作ろう」 昼食会・「介護体験意見交換」	12月17日
新年交流会ミニコンサート「ミュージックベルバンド」 昼食会・「介護体験意見交換」	1月27日
健康講話「歯のはなし」「介護体験意見交換」	2月16日
体験「癒しのアロマテラピー～オイルとクリームづくり～」	3月13日

実践「ハンドトリートメント」	
----------------	--

延べ121名参加

○地区別「在宅介護者のつどい」について

- ・ 9月19日に西部地区社協にてお悩み座談会を開催。参加者11名の近況報告等の情報交換を行った。
- ・ 11月21日に西部地区にて第2回を開催。参加者19名で講師から説明を受けながらリース作りを行った。

5 相談事業

(1) 心配ごと相談（毎週水曜日 10:00～14:00）

開催日数は52日であり、民生委員児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。1日あたり相談員2名で対応した。

(2) 心の相談（毎週月曜日、金曜日 10:00～15:00）

開催日数は92日であり、相談員3名で相談にあたった。1日あたり相談員1名で対応した。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	6	1	0	2
2	年金問題	0	0	1	0
3	職業・産業問題	0	0	4	0
4	住宅問題	0	2	0	0
5	家族問題	3	3	27	12
6	結婚問題	0	0	0	0
7	離婚問題	1	0	0	0
8	健康・衛生問題	0	0	4	2
9	医療問題	0	0	0	2
10	精神衛生問題	1	1	2	1
11	人権・法律問題	2	1	0	0
12	財産問題	2	0	1	0
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	0

15	教育・青少年問題	0	0	0	2
16	心身障がい者（児）福祉問題	1	0	1	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	4	2	0	1
19	苦情問題	0	2	2	2
20	その他	4	2	4	6
	合計	24	14	46	30
	総合計	38		76	

○心配ごと相談員 相談員研修会

開催日	11月20日（木）
講師	鎌ケ谷市精神保健嘱託医 大塚芳克先生 鎌ケ谷市健康増進課保健師 坂本磨耶氏
内容	鎌ケ谷市精神保健学習会 講演「こころの不調と発達障がい」及び、グループワーク
参加者	心配ごと相談員

（３）終活相談会（毎月１回 第３火曜日または木曜日）

偶数月の第３木曜日、奇数月の第３火曜日に終活に関する初期相談として終活相談会を開催。年間１２回、延べ２９件の相談に応じた。

６ 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 ４，５８４件

（１）福祉資金（鎌ケ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・貸付決定額 ０円

○年度末貸付額 ４１０，６９１円

（２）生活福祉資金等（受託事業〈実施主体：（福）千葉県社会福祉協議会〉）

○低所得世帯、身体障がい者世帯等の自立支援、生活の安定を図るための貸付。

・貸付決定額 ２，４７１，６００円（１１件）

資 金 種 類		貸付決定額	件 数
福祉資金	福祉費(住宅改修)	242,000	1
福祉資金	緊急小口資金	568,000	7
教育支援資金	教育支援費のみも含む	1,661,600	3

○生活福祉資金等の取り扱い件数

- ・年度末取り扱い件数180件（福祉資金（福祉費）12、緊急小口38、教育76、総合50、離職者支援資金3、生活復興支援資金1）
- ・免除申請承認件数0件
- ・令和7年4月～令和8年3月

○コロナ特例貸付の取り扱い件数

- ・年度末取り扱い件数1,069件（総合703、緊急小口366）
- ・免除申請承認件数80件

(3) 償還を促す指導等

○借受世帯への償還指導等(本則延べ502件)

○「償還残高のお知らせ」等の送付(年4回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉

○督促状、請求書等の送付及び法的措置の依頼((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)

7 地域福祉権利擁護事業（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

(1) 日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用手続きや、日常生活における金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。また、地区社協や民生委員児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。

①相談・訪問調査等

区 分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問調査延べ回数
高齢者	19	200
知的障がい者	4	80
精神障がい者	3	78

上記以外	0	2 3
合 計	2 6	3 8 1

②利用契約件数

区 分	年度末 取扱い件数	件数（新規）	件数（解約）
高齢者	7	5	1
知的障がい者	2	0	0
精神障がい者	2	1	0
その他	1	0	0
合 計	1 2	6	1

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者人数	5
活動人数	4
合 計	9

④生活支援員養成研修会（オンライン）

千葉県後見支援センター主催の研修会に生活支援員 7 名参加。

基調講演「意思決定支援の基本」

意見交換 ①「利用者の自己決定を尊重するために心がけていること」

②「支援するうえで戸惑ったこと・不安に思っていること」

⑤関係機関連絡会

市内関係機関連絡会を 3 月 5 日に総合福祉保健センターを会場に開催した。保健福祉部及び基幹相談センターにおける権利擁護に関する取組についての発表、意見交換等を行った。

（２）成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言、相続について司法書士の協力を得て、6地区社協との共催にて相談会を開催した。(市内6か所・16件)

期 日	会 場	相談件数	相談内容
10月20日	総合福祉保健センター団体活動室	2	①遺言について ②成年後見について
11月5日	東部学習センター学習室1	2	①遺言について
11月6日	東初富公民館集会室	1	①遺言について ②相続・遺産分割について ③法定後見について
11月7日	きらり鎌ヶ谷市民会館学習室5	2	①相続・遺産分割について ②成年後見について ③任意後見について
11月11日	南部公民館学習室1	4	①遺言について ②任意後見について
11月26日	総合福祉保健センター団体活動室	3	①成年後見概要について ②任意後見について ③法定後見について ④相続・遺産分割について ⑤遺言について ⑥贈与について
12月9日	くぬぎ山コミュニティセンター保育室	2	①成年後見概要について ②任意後見について ③死後事務について ④遺言について

※北部公民館改修のため、北部地区での開催はありませんでした。

8 善意銀行

○寄付金総額 1,378,341円(57件)

金銭の払出し

(円)

払 出 先	金 額	備 考
ボランティア・福祉団体等	9, 7 3 0	目的別寄付
地区社協	9 0 9, 3 3 1	地区社協活動助成金
要援助者支援	1 2 8, 8 1 0	災害見舞金（10件）、 生活困窮者への食糧支援（1件）
その他	9 6 2	消耗品備品の購入
合 計	1, 0 4 8, 8 3 3	

○寄付物品 車いす（1件）

9 受託事業（実施主体：鎌ヶ谷市）

（1）福祉作業所友和園（指定管理者制度）

法定事業所（就労継続支援B型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める支援を感染予防対策を講じながら行った。利用人数及び定員は就労継続支援B型13名（定員20名）、生活介護10名（定員10名）であった。

生活支援の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的生活習慣が身に付くように、月例行事など様々な機会をとおして、個別支援計画に沿って、具体的な支援を行った。

就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための支援を行い、作業の面では、コンタクトレンズ用品の袋入れ、ゴミ袋の袋入れ、かぶの袋入れ、箱の組み立て作業等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、花壇の手入れ、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り市役所販売等外部での販売を行った。昨年に引き続き、千葉日報社より「NTT児童画コンクール参加賞」として紙すきのノート2,600冊の注文を受け製作にあたった。工賃総収入として2,780,354円であった。

その他、地域に向けて開かれた施設を目指し、毎月ゴミ拾い活動や年に1回友和園祭（11月第2土曜日）を開催した。作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を年2回、個別支援計画の確認のため、個別面談

を年2回実施した。さらに、活動の様子がわかるように園の広報紙「ゆうわ」を年3回発行した。

(2) 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用221回〉団体活動室〈年間利用371回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

※また、大会議室は2月6日から3月16日まで確定申告会場となっており、確定申告分は年間利用回数に含まれていない。

10 共同募金運動

(1) 赤い羽根募金 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	43 自治会・町会	3, 231, 571
学校募金	市内小、中学校、高等学校	131, 053
法人募金	商店、会社等195件	671, 510
その他募金	職域、個人、団体等	208, 697
合 計		4, 242, 831

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金

○収入 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	39 自治会・町会	2, 200, 730
その他募金	個人、団体等	125, 060
合 計		2, 325, 790

○配分 (円)

事業名	内容	金 額
生活困窮者見舞金支給事業	要援護世帯へ見舞金支給	690, 000

学習支援事業	要保護・準要保護児童・生徒に図書カードを配布	620,000
緊急的生活支援事業	困窮世帯への食糧等支援・要援助者へ卓上カレンダー配布	623,080
福祉ニーズへの支援事業	社協啓発活動	201,442
福祉関係団体助成金事業	当事者団体、こども食堂等へ助成	220,000
地域・在宅福祉事業	障がい者福祉イベント・在宅福祉活動等	267,000
合 計		2,621,522

(3) 義援金の受付・送金

○能登半島地震

- ・千葉県共同募金会へ計62,092円の義援金をお預かりし、送金した。

○能登豪雨

- ・千葉県共同募金会へ計9,818円の義援金をお預かりし、送金した。

○大船渡火災

- ・千葉県共同募金会へ計10,000円の義援金をお預かりし、送金した。

○大分市火災

- ・千葉県共同募金会へ計10,000円の義援金をお預かりし、送金した。

(4) 災害見舞金の支給

- ・10件の災害見舞金として計74,000円を支給した。

令和 7 年度 事業報告の附属明細書

令和 7 年度事業報告には、社会福祉法第 45 条の 27 第 2 項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 8 年 5 月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会